

令和7年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修 ※対面（集合型）

| | | | | | |
|---------------------------------------|--|--------------------|-----------------------|---------------|-----|
| 研修名 | 働き方改革を考える | | | | |
| 資質向上に関する指標（文科省） | 教職に必要な素養 学習指導 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応 | プログラム指標 （しまだい） | 学校創造 | | |
| キャリアステージ | 自立・向上期（1～10年目） | ○ | 研修レベル | 基礎（学部1・2年レベル） | |
| | 探究・発展期（10～20年目） | ○ | | 応用（学部3・4年レベル） | ○ |
| | 充実・円熟期（20年目以降） | ○ | | 発展（大学院レベル） | |
| 開設日 | 令和7年8月18日（月）午後 | 時間数 | 3時間 | 受講定員 | 30名 |
| 会場 | 山陰教員研修センター （島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程に併設） | 所在地 | 島根県松江市大輪町416-4 | | |
| 授業形態 | 講義・演習 | 対象校種 | 全校種 | | |
| | | 対象教科 | 全教科 | | |
| 実施方法 | 対面（集合型） | 対象職種 | 教諭、養護教諭、 広く学校教育関係者 | | |
| 担当講師 | きのした きみあき 木下 公明（元鳥取市教育委員会次長、元鳥取市立北中学校校長、元島根大学教育学部特任教授） | | | | |
| 研修内容 | 教職員の多忙化、教職員不足、ギガスクール構想の導入、中学校における部活動の地域移行化等教育現場は対応に追われています。ここでは働き方改革が教育現場に与えている影響を現場の様々な場面をとらえて考えてみます。改革の本来の意義が活かされているか。「教育の不易と流行」という視点で考えてみます。 | | | | |
| 日程 ※研修の進み具合によっては、予定時間を変更することがあります。 | 時間 | 内容 ※研修中は適宜休憩をとります。 | | | |
| | 13：10～13：30 | 受付 | | | |
| | 13：30～13：40 | オリエンテーション | | | |
| | 13：40～15：00 | 働き方改革を考える | | | |
| | 15：00～16：30 | 演習 | | | |
| 16：30～16：45 | 「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時 | | | | |
| 研修に関して各自準備するもの | ・特になし | | | | |
| 事前課題 | ・特になし | | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 募集要項に記載の携行品等をご持参ください。 当日の駐車場は、附属義務教育学校前期課程校庭です。南側入口からお入りください。 講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。 kimiaki_112@yahoo.co.jp まで、ご連絡ください。 | | | | |